

**製品名: マトリプターゼウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab13672**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	95kDa

**抗原情報**

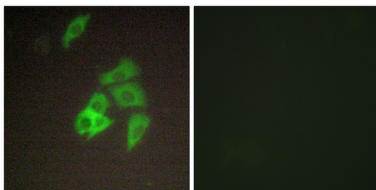
遺伝子名	ST14 ST14; PRSS14; SNC19; TADG15; Suppressor of tumorigenicity 14 protein; Matriptase;
別名	Membrane-type serine protease 1; MT-SP1; Prostamin; Serine protease 14; Serine protease TADG-15; Tumor-associated differentially-expressed gene 15 protein
遺伝子 ID	6768.0
SwissProt ID	Q9Y5Y6
免疫原	抗血清はヒト ST14 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 10-59

**背景**

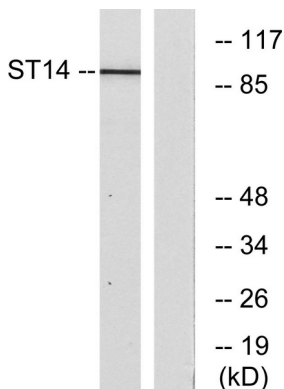
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、上皮由来の膜貫通型セリンプロテアーゼです。このプロテアーゼは、クニッツ型セリンプロテアーゼ阻害剤である HAI-1 と複合体を形成し、スフィンゴシン 1-リン酸によって活性化されることが分かっています。このプロテアーゼは、肝細胞増殖因子/散乱因子、およびウロキナーゼプラスミノゲンアクチベーターを切断・活性化することが示されており、このプロテアーゼが他のプロテアーゼや潜在性増殖因子の上皮膜活性化因子として機能する可能性が示唆されています。このプロテアーゼの発現は、乳がん、大腸がん、前立腺がん、および卵巣がんとの関連が指摘されており、癌の浸潤および転移における役割が示唆されています。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月]、触媒活性： P1 位に Arg または Lys を持つ様々な合成基質を切断し、P2 位に Ala や Gly などの小さな側鎖アミノ酸を優先的に切断する。、疾患： ST14 の欠陥は、常染色体劣性貧毛性魚鱗癬 (ARIH) [MIM:610765]の原因である。ARIH は、先天性魚鱗癬を特徴とし、正常よりも少ない毛髪量を伴う皮膚疾患である。、機能：細胞外マトリックスを分解する。乳がんの浸潤および転移に関与することが示唆されている。 P1 部位として Arg または Lys を有する合成基質を切断することで定義されるトリプシン様活性を示す。、類似性：ペプチダーゼ S1 ファミリーに属する。、類似性：ペプチダーゼ S1 ドメインを 1 つ含む。、類似性：CUB ドメインを 2 つ含む。、類似性：LDL 受容体クラス A ドメインを 4 つ含む。、サブユニット：CDCP1 と相互作用する。TMEFF1 と相互作用する可能性がある。、

## 研究分野

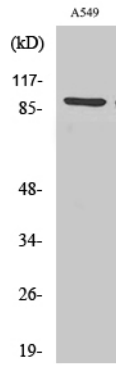
## 画像データ



ST14 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



ST14 抗体を用いた A549 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



マトリプターゼポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析